

認知症作業療法 活動報告（概要）

福井県作業療法士会では会員の認知症への理解や対応力を高めるために、平成25年度から特設委員会として認知症対策委員会を立ち上げ、認知症関連分野で働いている委員と共に、定期的(冬季以外)に集まって、認知症や認知症予防に関する情報の把握・勉強会・研修会等を開催しています。

福井県：認知症健診活用推進事業（認知症初期集中支援チーム）への協力・情報把握

平成27年には「認知症初期集中支援チーム」についての概論の勉強会や福井県健康長寿福祉課の認知症初期対応チームの担当者を講師に招き「認知症初期対応チームの福井県の現状など」の勉強会を開催しました。その後は毎年、認知症初期集中支援チームの設置・活動状況を委員会にて情報把握ができるようにつとめています。平成29年度、30年度からは、若干ではありますがOTも関与している情報が把握できています。



県の保健師を招いての勉強会

人材育成事業：認知症研修会（年1回）の企画・開催

平成26年度からは、毎年外部講師を招いての認知症研修会を開催しています。

- ・H26:AOS研修・認知症患者を取り巻く地域医療～OTに期待すること～ 敦賀温泉病院 玉井顯院長 61名参加
- ・H27:認知症をもつ人にOTとしてできること 四條畷学園大学 認知症専門作業療法士 松下太先生80名参加
- ・H28:認知症の理解と地域で支えるOTの実践～死ぬまで現役を支えるOT～ 九州保健福祉大学OT 小川敬之先生86名
- ・H29:認知症者の持てる力を活かした実践～ICFの視点を活かしたOT～ 広島都市学園大学OT 谷川良博先生76名参加
- ・H30:認知症の人に対するOT-急性期～地域までの作業療法士の役割を考える 森ノ宮医療大学 OT松下太先生

(東海北陸学会と抱き合わせにて開催)

- ◎ 認知症アップデート研修会【包含】:平成29年は2回開催：参加者126名
- 平成30年は1回開催：参加者23名



研修会の様子

行政や市町村事業・イベント等の協力

平成29年に福井県が「ふくい認知症予防メニュー」を作成するのに多職種と協力してOT・PT・STも関与。リハ職が考案して作成した「認知症予防体操:ふく福ハッピー体操」等を普及委員として広報しています。また県の若年性認知症ネットワーク会議に出席したり、地域にて認知症予防事業や認知症カフェのお手伝いをしたり、キャラバンメイト・RUN伴等へ協力している会員もいます。



RUN伴・認知症フェア協力

認知症の人と家族の会との連携

平成29年からは公益社団法人 認知症の人と家族の会 福井県支部の「家族支援プログラム」(6回コース)のうちの一コマを当県士会の副会長が務め、「寄り添ってみましょう、相手の心～認知症の方へのリハビリ」と題して話をしています。

その他：広報・啓発活動

- * H29年度の総合事業にむけた「介護・認知症予防リーフレット」を作成して全会員に配布しました。
- ◎ 総合事業(介護予防事業)等にOTとして、役立つ情報満載のリーフレットにしました。



- * 研修会を開催する際、協会発行の冊子やビデオ・認知症関連の書籍等を並べて紹介しています。

- * H30.11/17.18の東海北陸学会(福井県)にて認知症のブースを設けて、一般の方にも広報を行いました。



東海北陸学会の認知症ブース

今後の展開

令和元年度事業計画

- ① AIスピーカーを用いての認知症支援の模索
- ② 会員相互の意見交換会・相談会の開催
- ③ 会員への認知症研修や情報の発信
- ④ good事例の集積等

※会員の認知症への理解や対応能力の向上をはかると共に、今後も認知症に関する情報を把握し、行政や他団体などから依頼があった際には迅速に対応できるようにしていきたい。